

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：5年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 昨年度の記録に比べて、全体的に男女とも記録が上がった。
- 男子は、特にソフトボール投げの運動を調整し、素早く動き出す能力が優れている。
- 男女とも、立ち幅跳びのすばやく動き出す能力である瞬発力に課題がある。
- 昨年度に比べて記録は伸びたものの、全国平均を下回っている種目が多い。

2 取組についての評価

(1) 体育科の学習指導

①効果があった取組

- ・1校1取組として、みなみんクラブ運動3（瞬発力向上を目的）や跳躍力向上を目的とした準備運動を取り入れたことで、昨年度の記録を上回ることができた。
- ・個の運動能力に応じて、段階を選択させる授業の進め方

②改善を図る点

- ・今年度は、握力の結果が全体的に下がっていたので、グーパー運動等の準備運動を体育の時間に取り入れること。または、校内全体で朝の会等で取り組む時間を設けること。
- ・自分の動きを振り返ることができるよう、ICTを活用した時間を設けること。
- ・使用した道具の片付け方を徹底させること。

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・日常的に運動することへの意識を向上させるため、体力アップシートの活用を教員、児童に周知し、定期的にチェックしていく。